

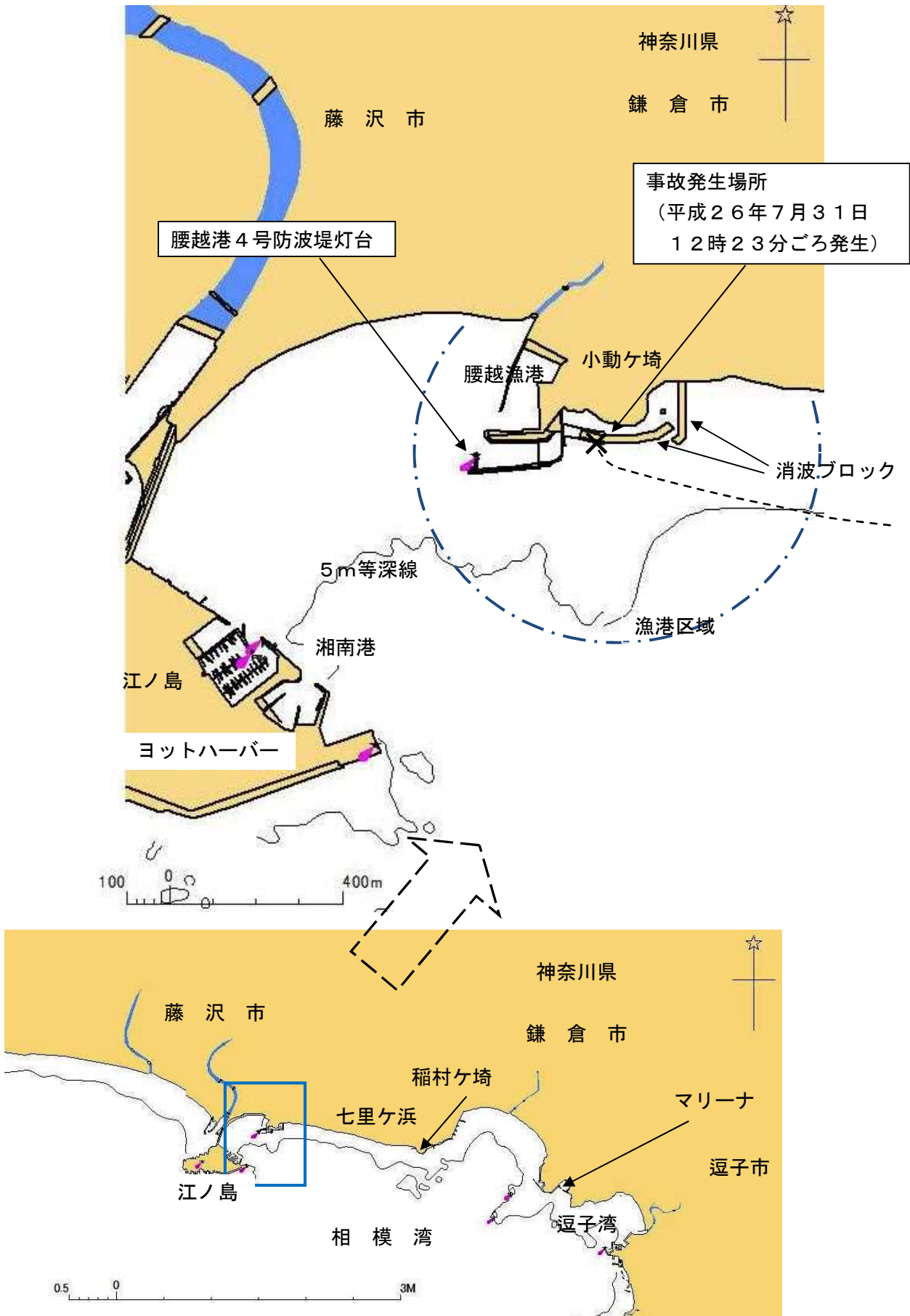
船舶事故調査報告書

平成27年7月23日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄司邦昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根本美奈

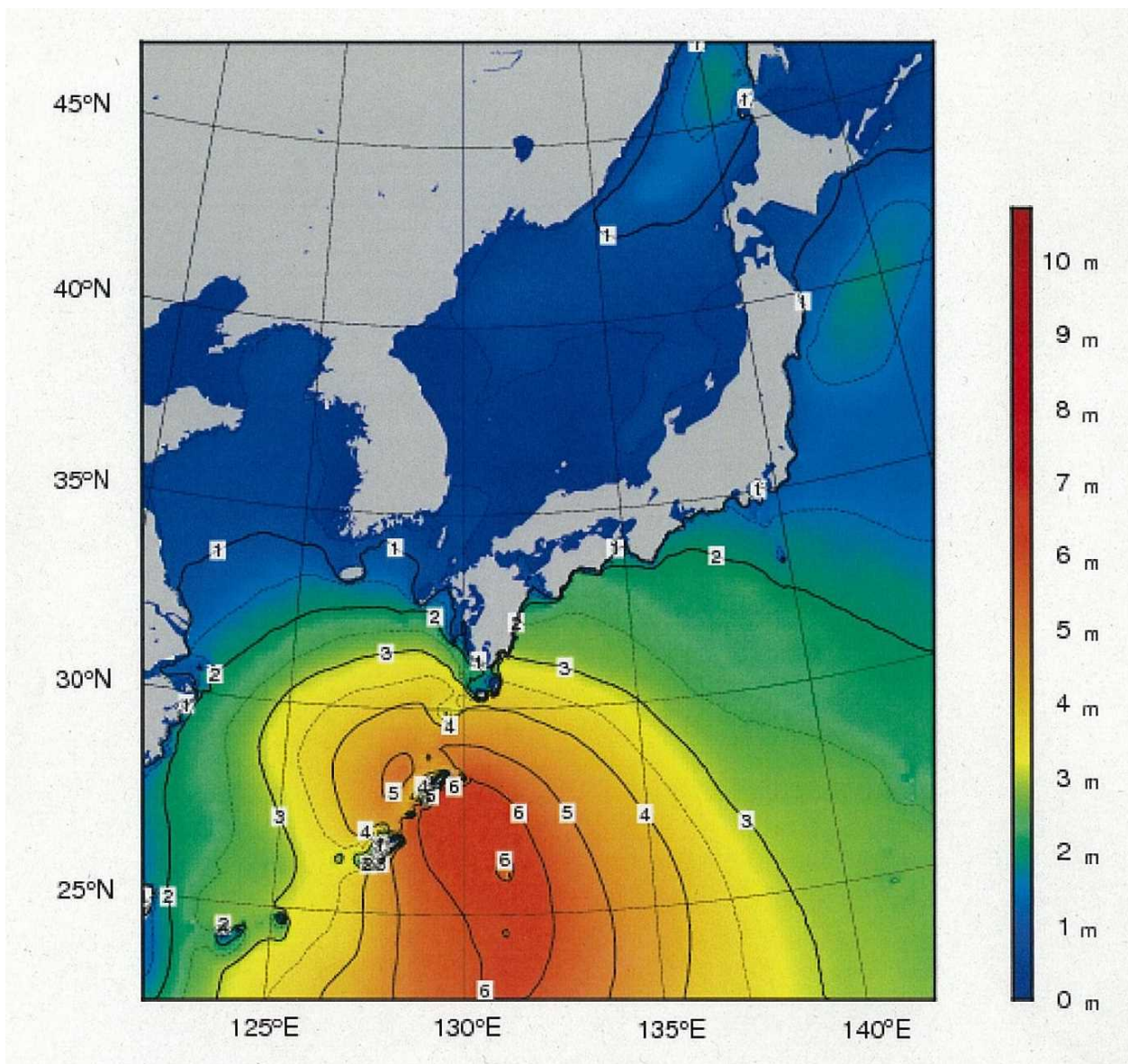
| | |
|---|---|
| 事故種類 | 乗揚 |
| 発生日時 | 平成26年7月31日 13時23分ごろ |
| 発生場所 | 神奈川県鎌倉市腰越漁港 腰越港4号防波堤灯台から真方位083°280m付近 （概位 北緯35°18.32′ 東経139°29.61′） |
| 事故調査の経過 | 平成26年8月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 | ヨット ^{マーム} Ma'am、0.2トン（長さ4.99m） 235-47611 神奈川、個人所有 4.99m (Lr) × 1.79m × 0.59m、FRP ガソリン機関、5.88kW、平成19年9月 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長 女性 60歳 二級小型船舶操船士・特殊小型船舶操船士・特定 免許登録日 昭和58年8月1日 免許証交付日 平成25年7月16日 （平成30年7月31日まで有効） |
| 死傷者等 | なし |
| 損傷 | 全損（沈没） |
| 事故の経過 | <p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人3人を乗せ、腰越漁港東南東方沖を神奈川県藤沢市のヨットハーバーに向けて帆走で西進していた。</p> <p>本船は、南方から風力3の風を受けて帆走していたところ、うねりによる圧流が大きいので、船長が帆走では困難と判断し、船外機を始動したものの、間に合わず、平成26年7月31日13時23分ごろ、風とうねりに圧流されて消波ブロックに乗り揚げた。</p> <p>本船は、船長がヨットハーバーに携帯電話で救助を求め、来援したヨットハーバーの職員及び目撃した近くの造船所職員が操船するテンドーボート、ゴムボートなどによって全員が救助された。</p> <p>本船は、乗揚後も波浪によって船体が消波ブロックに打ち付けられて船底に破口が生じ、浸水して沈没した。</p> <p>（付図1 事故発生経過概略図、付図2 沿岸波浪図（平成26年7</p> |

| | |
|---|---|
| | 月31日09時00分) 参照) |
| 気象・海象 | <p>気象：天気 曇り、風向 南、風力 3、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の末期、うねり 波向南、波高約2m</p> <p>7月31日09時00分の天気図によれば、沖縄本島の南方約60海里沖を中心気圧990hPaの台風第12号が北進中であつた。</p> <p>下田沖のGPS波浪計によれば、13時40分に波向不詳の最高波高約1.48mの波浪が観測されていた。</p> <p>神奈川県湘南地域に気象の注意報及び警報は発表されていなかった。</p> |
| その他の事項 | <p>船長は、ヨットの操縦歴が約10年あつた。</p> <p>船長は、遊走の目的で、11時00分ごろ、ヨットハーバーを出港して神奈川県逗子市のマリーナに帆走で向かっていたが、うねりがあつて風が弱く、思うほど同マリーナに接近できなかったため、12時30分ごろ、鎌倉市稲村ヶ崎南方沖で引き返し、陸岸近くの水深が浅い海域を航行していた。</p> |
| 分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析 | <p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>本船は、腰越漁港東南東方沖において、ヨットハーバーに向けて西進中、左舷正横付近から波高約2mのうねりを受けながら帆走していたことから、風とうねりによって圧流され、船長が帆走では困難と判断し、船外機を始動したものの、間に合わず、腰越漁港の消波ブロックに乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>本船は、台風第12号によって発生したうねりの影響を受けたものと考えられる。</p> |
| 原因 | <p>本事故は、本船が、腰越漁港東南東方沖において、ヨットハーバーに向けて西進中、左舷正横付近から波高約2mのうねりを受けながら帆走したため、風とうねりによって圧流され、船長が帆走では困難と判断し、船外機を始動したものの、間に合わず、腰越漁港の消波ブロックに乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p> |
| 参考 | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うねりは、陸岸近くの水深が浅い海域で波高が高くなるので、うねりのあるときは、陸岸から十分に離れて航行すること。 |

付図1 事故発生経過概略図



付図2 沿岸波浪図（平成26年7月31日09時00分）



（気象庁 日々の沿岸波浪図）